No.RN-1371 , Aug. 2024

●1920 年代後半～1930 年代前半の大規模な飢饉（ウクライナ、カザフスタン、ドン、クバン、北カフカスなど）のうち、カザフスタンとそれに隣接する地域での悲劇的事件の真実に迫る

ロシアとカザフスタンの飢饉
1927-1934 年　文書集　全2巻

モスクワ、「クチコヴォ・ポーレ・ムゼオン」社、2024 年刊、2080 頁

Голод в России и Казахстане. 1927-1934: Сборник документов. В 2 т.

Т.1. Начало общей трагедии. 1927-1931.
Т.2. Кульминация трагедии. Выход из голода. 1932-1934.

/ Отв.ред. Юрасов А.В., Отв.сост. Кондрашин В.В., Жылысбаева М.Г.; предисл. Кондрашина В.В.　М., <Кучково поле Музеон>. 2024 г., 2080 с.
ISBN9785907589476　(160×240 мм)　(R261004-4139)　予価　hard (2) **¥33,000.**

■各巻の邦訳名
第 1 巻 「全般的悲劇の始まり 1927～1931 年」、920 頁、ISBN9785907589483
第 2 巻 「悲劇の絶頂期　飢饉からの脱出　1932～1934 年」、1160 頁、ISBN9785907589490

■本書は、1920 年代後半から 1930 年代前半にかけて、現在のカザフスタン共和国とそれに隣接するロシア連邦の地域とを合わせた広大なエリアにおいて発生した悲劇的な飢饉の真相に迫るアーカイブ文書を集大成したものです。文書の出所は、ロシア連邦とカザフスタン共和国の中央文書館、官庁文書館、地域的文書館です。

■第1巻では、この悲劇的な飢饉を呼び起こした主観的、客観的要因の究明、その発生と拡大、地域的特徴の記述とをめざし、第2巻では、飢饉の最も重大な原因としての「穀物調達の計画と実行」の諸相、悲劇的出来事への中央及び地方当局の反応、飢饉との闘争・克服、カザフスタン畜産業への打撃と回復、カザフ遊牧民児童への援助などを、収録文書によって明らかにします。

■監修者は、ロシア連邦アーカイブ局の副局長であるユラソフ（1972 年生）ですが、実際に文書の選択・集成など作成・編纂に携わったのは、コンドラシンとジリズバエヴァの二名です。コンドラシン（1961 年生）はロシア科学アカデミー「経済史センター」長を務め、ソビエト農村史、とくに飢饉の歴史の専門家として知られています。ジリズバエヴァは国立カザフスタン共和国中央文書館の副館長です。

●表示価格は消費税込みの価格です。

●表示価格は消費税込みの価格です。